



雄大なユングフラウ山 グリュンデルワルトから  
クライネシャイディクックへの道



右からアイガー・メンヒ・ユングフラウ  
スイス ミュレンより 6/3 石丸より

#### 第14回源流（北陸）セミナーのお知らせ

宮永

本日のお昼 白山ロータリークラブにメーキャップに行ってきました。会員が38名で、本日の出席率が50%台だそうです（正確な数字は覚えていません）何か、とても親近感を持ちました。白山RCの会長からロータリーの源流のセミナーを紹介してほしいとのことで、よろしくお願ひします。

源流セミナーは、第2680地区パーストガバナーの田中氏が主催されている勉強会です。過去13回、尼崎を基点に札幌、宮崎、新潟、名古屋など日本各地で開催されてきました。この度初めて、北陸で開催されることになりました。第14回源流セミナー開催要項

開催テーマ 「ロータリーの原点を探る」

開催日時 2009年9月26日（土） 14:00～17:00

参加費 ￥3,000-

会場 加賀市観光会館

懇親会会場 山中温泉 白鷺湯たわらや

予定時間 18:30～21:00

懇親会費 ￥12,000-

2次会 ￥3,000-

宿泊・朝食費 ￥5,500-

日頃「ロータリーとは」と疑問に感じていらっしゃる会員の方には特にいい機会であると思います。奮ってご参加いただけますようご案内申し上げます。

例会予定 2008-2009年度	
5/28	秋元雄史様（21世紀美術館館長） 「現代美術から見た日本的な美—細工、漆、家屋、庭園」
6/4	藪 俊彦様（能楽師・加賀宝生）
6/11	魚住安彦様（金属工芸家・北RC会員）
6/18	磯野洋明様（金沢北RC会長）「ロータリーの美」
6/25	休会（6/27振替）
6/27	慰労例会 於：松魚亭

2008～2009

（役員） 会長：岩倉舟伊智 外副会長：村田祐一 幹事：多田利明 会計監査：竹田敬一郎 SAA井口千夏

（理事）クラブ管理運営委員長：吉田光穂（親睦友好：宮永満祐美 プログラム：木村幸生 SAA：井口千夏）

奉仕プロジェクト：炭谷亮一（職業：申東奎 社会：相良光貞 国際：斎木妙子 ニコ：東海林也令子）

会員組織委員会：魏賢任（会員増強：吉田昭生）

国際ロータリー財団委員会：西村邦雄（ロータリー財団と年次寄付：木場紀子）

広報委員会委員長：石丸幹夫（副：大平政樹 広報：北山吉明 ロータリー情報：永原源八郎 会報：石丸幹夫）

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241（事務局）相川晶代

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホムペーヅ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 10:00～16:00 木 15:00～20:30 休憩時間 12:00～13:00 休日 土日祝日



# 例会便り

516回 例会

2009 6.4

ホテル日航 5F

出席率 19/38 50.00%

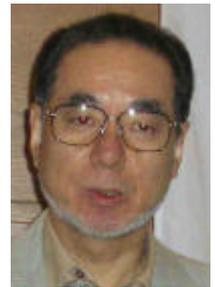
4月の修正出席率 77.44%

## 点 鐘

SONG『それでこそロータリー』  
四つのテスト

会長挨拶： 村田祐一エレクト  
岩倉会長、急用のためピンツヒッターです。

新型インフルエンザも峠を越えたようです。かつて猛威を振ったスペイン風邪は第一波では弱毒性でした。



第2波以降に強毒性に変化し世界を恐怖のどん底に落しました。今回はどのように変化するのか？初冬以降になる第2波に備えなくてははいけません。幸い我がクラブにはドクターが大勢いますので皆様の健康を守っていただけたと思います。個人的には栄養をつけて、休養を十分取って体力をつけて迎え撃ちましょう。ゲスト紹介 藪 俊彦 様（宝生流能楽師） ビジターの紹介 金沢香林坊RC 小幡謙二様

今月の誕生者の紹介 16日 魏賢任会員 17日 永原源八郎会員

## 《 食 事 》



### 幹事報告・委員会報告

宮永次期会計 次年度は厳しい予算であるため次の二点について会員から了承をいただいた

・予算の段階から ニコニコボックスから・・・円繰入すること

・これまでの積立金を 全額使用すること

以上については会員から異議が出なかった

今後のニコニコから奉仕以外でも支出するかどうか・・・話し合いがもたれた



ニコニコBOX ¥14,000- 本年度累計 ¥829,576- 残高¥3,348,960-

村田会長エレクト 藪俊彦様、お話し楽しみにしています。 上杉会員 藪先生ようこそ。今日のお話し楽しみです。 木村幸生会員 藪様ようこそ。日本の美の卓話を楽しみにしています。 木村陽子会員 御忙しい藪先生、本日はようこそ。御話楽しみに致して居ります。 齋木会員 藪先生ようこそ。すばらしい卓話楽しみにして参りました。勸菊 炭谷会員 本日の卓話に藪様をお迎えして。 宮永会員 藪先生ようこそ。私は狂言をしているのでとても楽しみです。 吉田光穂会員 藪様ようこそいらっしゃいました。

講話の時間 テーマ 日本の美 ～ 芸能の美 ～ 『室町文化の能』

藪 俊彦 様（宝生流能楽師）



【プロフィール】1944 年石川県生まれ。佐野安彦師、佐野正治師に師事、能楽の道へ入る。1972 年より社中「簗宝会（こうほうかい）」を主宰。1976 年宝生流職分となり能楽活動に専念する。1981 年金沢市の姉妹都市ベルギー・ケント市で友好親善の公演に参加。2001 年国の重要文化財総合指定者に認定され日本の能楽会会員となる。1999 年ピエンナーレいしかわ「南水ひとり語り加賀宝生の世界」で能「山姥」シテ 2002 年能「船弁慶」後の出留の伝シテで人間国宝の野村萬師、宝生閑師と共演等。1996 年金沢市文化活動賞、2004 年北國芸能賞受賞。趣味は茶道、歌舞伎・映画鑑賞。



海外での能を紹介する機会があります。今年はブラジルとフランスに行ってきました。フランスの「プチパレ美術館」で、京都市から禅の文化、金沢市からは伝統文化が紹介され、能楽も紹介してきました。ワークショップなどもとても興味をもってもらえ、最後はスタンディングオベーションだったので、安心しました。

今回は室町文化と能ということでお話します。室町時代に禅の文化が発展したとき、他の文化も同時に発展しました。華道、茶道、香道、能楽などの動きと禅の動き似ています。それは、そのころ、文化人が集うオープンサロンのようなところがあったのではないかと、室町文化はつながりがあるのではないかと、と思います。そして、「能は仏にたむけるものである」ということから、禅と関係があります。今日の伝統文化はほとんど室町時代に生まれました。

次に、能についてお話します。能は、非常に単純化されています。能の面は単純な彫りをしていて、泣いていることを表現する時には、手をあてる「しおり」という型で表現し、嬉しいときは上を向くということによって表現します。

能を楽しむ時は、`あらずじ`を問題にするのではなく、愛の深さや人間の気持ちを表現していることを、虚心坦懐にとうけとることが大切です。そして、前提になっている出来事を勉強すると、さらに理解が深まります。例えば、在原業平の井筒という能がありますが、業平と有常の娘とのストーリーが前提となっていて、幽霊が出てきて、お坊さんに話をして舞を舞うという能です。前提となるストーリーを分かった上で二人の愛の深さを感じるとさらに楽しめます。

## 点 鐘